

学校教育計画(平成28年度～平成31年度)

学校名	横須賀工業高等学校	課程・学科 教育部門・学部	全日制・機械科・電気科・化学科
-----	-----------	------------------	-----------------

1 学校のミッション

全日制専門学科の高校として、産業の動向等に適切に対応し、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に定めるため、学年制によるカリキュラム・マネジメントに学校全体で取り組み、学力の育成、豊かな人間性や社会性を培い、社会的・職業的に自立することをめざした学校づくりに取り組む。

教育課程については、工業に関する専門教科・科目を中心に、専門性の向上を図る教育に重点を置いて、実際の・体験的学習を重視して産業界等との連携をより一層深めるとともに、共通教科・科目の適切な配置に基づいて編成を行う。

これまで、インターンシップ体験の充実を図るなど、職業観、勤労観を育み、キャリア教育の充実に取り組んできたが、今後はさらに、自ら課題を発見し解決する力を育み、主体的に学ぶ意欲を高めることをめざした不断の授業改善の実施や、地域産業や社会に貢献できる人材の育成に向けた教育活動の充実に取り組む。

2 学校教育目標

- 高等学校教育を通して健全な心身と個性豊かな人間性を育成し、工業に関する知識・技能を修め、自主的・創造的精神を養う。
- 生徒の主体的に学ぶ意欲を高め、自ら課題を発見し他者と協働して解決する力を育むことによって、地域産業や社会に貢献できる人材を育成する。

3 計画作成時点での課題

- 「わかる喜び」「達成感」を感受させることで、基礎的知識・技能の定着と主体的に学ぶ力を育成するための組織的な授業改善に取り組んでいるが、個々の取組は成果が現れているものの組織的な取組としてはまだ不十分な面が見られる。
- 資格取得の機会拡大・活性化を図り、工業各科の補習指導を推進することで資格取得率の向上を目指しており、成果が現れている分野もあるが、各科による組織的なバックアップ体制の構築や補習指導が不十分である。
- 2年生全員によるインターンシップは定着しており、働くことに対する意識啓発や職業選択などの面で成果は上がっているが、外部講師によるプレゼンテーション講座の充実、校外の発表会への積極的参加等、コミュニケーション能力の更なる育成が課題である。
- 進路選択とその実現のために、個別指導、進路希望調査、進路講演会等を実施しているが、様々な生徒のニーズに合った指導体制を構築し個々の生徒の進路実現をサポートしていく必要がある。
- 専門高校の特色を生かし、文化祭・地域貢献デー等を通して地域住民の方々と触れ合う機会を設けているが、防災活動、近隣教育機関との交流、地域行事への参加等を活性化することで地域連携を促進させなければならない。

4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> 工業高校として育成すべき人物像を見据え、基礎学力の充実を図るとともに、企業・大学等のニーズにも対応できるような教育課程の編成に努める。 言語活動の活性化、協働的な学びを展開し、確かな学力を育成する。 資格取得の機会拡大を図り、資格取得率を向上させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ものづくりを通して自ら考え、課題を解決する実践力を育成するための幅広い学びのシステムを構築する。 ICTの活用、アクティブラーニングの導入による組織的な授業改善の取組を推進する。 資格取得に関する資料や取得状況等の情報提供を推進し、工業各科の補習指導を充実させる。
2	生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> 基本的生活習慣の定着と生徒が自ら社会のルールやマナーの意味を考える指導の充実を図る。 生徒主体の生徒会活動・行事の運営を推進する。 潜在的ニーズにも対応可能な教育相談体制の確立を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導経過の可視化、指導プロセスの統一により「あたりまえのことをあたりまえに」できる行動力を育成する。 生徒の自立活動を主眼としたサポート体制を充実させる 各支援会議、SC、SSWとの連携による支援体制を発展させる。
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> 社会的・職業的自立のための力を育成する計画的キャリア教育を実践する。 全員参加のインターンシップのさらなる充実を図るとともに、進路選択に幅広く活用できる進路データベースを構築する。 	<ul style="list-style-type: none"> 外部機関・学年等と進路支援グループの連携を通して、個々の生徒に対応したきめ細かな指導を行う。 インターンシップの指導を充実させ、他者と連携・協働しながら主体的に考え行動できる力を育成する。
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> 保護者や地域との連携を推進することにより生徒のコミュニケーション能力の向上を図り生徒の「生きる力」と豊かな社会性を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な機会、手法を活用し、生徒主体の地域連携を深化させると共に専門高校の特色をアピールする広報活動を推進する。
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> 学校評価システムにおけるPDCAサイクルの「見える化」を実践し、安全・安心な教育環境の整備と事故防止に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育課題に対応した職員研修を積極的に実施し、指導力向上と事故防止に努める。 教育施設・設備の点検、補修を計画的に行い、安全な教育環境整備に努める。